

1年ぶり 校歌を斉唱

秋中・秋高同窓会大館支部総会



大館支部総会は暖冬とは言え風冷き二月二十二日幸町「北秋クラブ」にて辻会長・仙波事務局長をお迎えし開催。伊藤碩彦副会長（昭35卒）の開会のことばに続き布袋屋伊作会長（昭20―5卒）、ご来賓の方々よりご挨拶の後、小畑元大館市長（昭42卒）による恒例の市政報告。

記念撮影のあと榊幹雄氏（昭20―5卒）の発声にて乾杯し祝宴に入った。

在学中の思い出・近況報告のフリートーキングに入る頃は座も打ち解け、年齢・職業の壁は完全に消滅し、そこかしこで会話の輪ができた。話は尽きないものの三時間の長丁場を消化。次回は名

つどい

物「きりたんぼ」のシーズン十一月開催を全員一致で了承！

一年振りでの校歌を声高らかに斉唱し散会した。
（幹事長 加藤 浩 記）

卒業六十周年への想い語る

昭和26年卒同期会

平成十八年十月二十日（金）協働大町ビルを会場として、平成十八年度総会が行われ小泉会長の開会の挨拶に続いて昨春秋の叙勲で瑞宝双光章を

受けた矢野浩君の慶祝を披露した後、次第により審議で会計決算の承認並びに事務報告等を経て記念写真を撮影ひとまず閉会。

懇親会に先立ち恒例とした



80期3Gクラス会 平成18年11月13日

やがて近づく卒業六十周年への想いをテーマに懇談を重ね約二時間に及んだ夜長も短く感じながら大団円を迎え、会員全員で校歌を斉唱し閉会となり其後来年度の再会を約し二次会会場の同ビル内魚河岸にのぞみ盛会であった同期会の幕をとじた。

アトラクションで、会員の竹谷君による矢留城にまつわる日常生活―佐竹文書（寝夜のこ）の講話から現代では知り得ない諸々を知ることが出来た。

懇親会は、恩師の寺田光和先生、関東代表山下直樹君の出席をいただき開宴となり先生からは健康の秘訣を中心としたお言葉を戴き健康の重要性を改めて認識したところでした。

続いて山下君の乾杯の音頭で献酬をかわし旧知を暖めながら相互の近況を大いに語り合い、和やかなムードに浸った。